

まにわ

関係者約190人列席のもと
記念式典が行われました。



57店の出店があり、関係者含め約2,000人が
真庭市の20歳を祝いました。



市内外で活躍するダンスチーム3組の
パフォーマンスがありました。

6

令和7年6月第3回真庭市議会

MANIWA
MG
IKAI

6月定例会

会期6月13日～7月11日

6月議会の会議録は令和7年9月上旬、
ホームページ及び議会事務局で閲覧できます

【主な内容】

今回の一般質問は17人

- 議案11件を可決
- 補正予算1件を可決
- 請願1件を採択
- 発議2件を可決

予算は千円単位ですが、見やすくするため
万円表記にし、千円を四捨五入

令和7年度6月補正予算

3億5,835万2千円を可決しました

一般会計補正後 340億3,535万円

	6月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	3億5,835万円	340億3,535万円	3.6%減
特別会計	-	125億1,390万円	0.2%増
公営企業会計	-	77億8,115万円	0.5%減

令和7年度補正予算会計別集計表

単位:万円

会計名	6月補正額	6月補正後予算額
一般会計	35,835	3,403,535
国民健康保険特別会計	0	492,068
後期高齢者医療特別会計	0	90,648
介護保険特別会計	0	643,389
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	0	6,792
浄化槽事業特別会計	0	3,512
津黒高原観光事業特別会計	0	2,714
クリエイト菅谷事業特別会計	0	1,029
温泉事業特別会計	0	11,237
特別会計合計	0	1,251,390
水道事業会計	0	230,173
下水道事業会計	0	389,254
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	0	158,687
公営企業会計合計	0	778,115
合計	35,835	5,433,040

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります

一般会計 主な歳出

獣害処理体制強化

「ジビエコンテナ」導入

3,404万2千円計上

旧真庭高校久世校地を活用した学生のフィールドワーク等の活動拠点として岡山大学サテライトキャンパスの誘致を推進するサテライトキャンパス推進事業1,238万円。地域の足を確保するため新たなデマンド交通の仕組みを北房地域で実証する公共交通対策事業398万9千円。園庭開放に向けた防犯設備の整備を行う保育園施設整備費1,298万円。妊婦に対する遠方の医療機関への移動支援等を行う妊産婦ケア事業26万1千円。市内企業等とともに再生可能エネルギーの地域内循環を行う地域新電力会社を設立する地域エネルギー100%のまちづくり推進事業2,243万6千円。獣害対策として捕獲処理体制の強化を図るため「ジビエコンテナ」を導入する農業振興施設等整備事業3,404万2千円をそれぞれ増額しています。

消防設備の更新

消防ポンプ車の購入

今回購入するのは、勝山方面隊第一分団8部の消防ポンプ自動車です。

契約の方法は条件付一般競争入札で契約金額は2,681万8千円。契約の相手方は、(株)沼本産業です。



ポンプ車(消防団)

救急車の購入

今回購入するのは、災害対応特殊救急自動車です。

契約の方法は一般競争入札で契約金額は3,454万

円。契約の相手方は、岡山トヨタ自動車(株)特販部です。



救急車(消防本部)

導入後は、真庭市消防本部本署に配備されます。

消防ポンプ車の購入

今回購入するのは、3t級消防専用ダブルキャブオーバー型(低床式)消防ポンプ自



ポンプ車(消防本部)

動車です。

契約の方法は一般競争入札で契約金額は6,655万

円。契約の相手方は、(有)亀屋防災です。

導入後は、真庭市消防本部蒜山分署に配備されます。

工事請負契約の締結

【遷喬小学校内部大規模改修工事】

遷喬小学校内部大規模改修工事を条件付一般競争入札で実施しました。契約金額

は4億4,440万円で契約の相手方は、梶岡建設株式会社・鳥越工業株式会社特定建設工事企業体です。



遷喬小学校

請願

地方財政の充実・強化に関する請願 **【採択】**

2026年度の政府予算と地方財政の検討にあたり、社会全体として求められている賃上げ基調に相応する人件費の確保を含めた地方財政を実現するよう、意見書を国の関係機関へ提出をもとめるもの。審査の結果全会一致で採択し、意見書を衆参両院議長など9人に提出しました。

傍聴

真庭市議会の本会議・常任委員会を間近で傍聴してみませんか。

傍聴を希望される方は、議会開催中に市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。傍聴席は、30席用意しています。



傍聴席

令和7年度

補正予算

7月7日、議長を除く全議員で予算審査特別委員会を開催し、補正予算の概要について、各部局長、課長等から説明がありました。委員から多くの質問があった後、すべて原案どおり可決しました。



一般会計補正予算 3億5,835万円 前年比 3.6%減

6月補正予算 主要事業 抜粋 (金額は千円を四捨五入)

1 共創による北房のあし構築実証

- 公共交通対策事業 399万円

2 婚活と新婚さんサポート

- 結婚推進事業 499万円

3 大学のサテライトキャンパス誘致

- サテライトキャンパス推進事業 1,238万円

4 みんなでつくる「まにあがり」官民活用事業

- デジタル共創拠点調査研究事業 2,201万円

5 放課後児童クラブ巡回アドバイザー配置

- 放課後児童健全育成事業 343万円

6 園庭開放による遊び場づくり

- 保育園施設整備費 1,298万円

7 妊産婦さん安全安心サポート

- 妊産婦ケア事業 264万円

8 次世代水田農業経営体育成支援事業

- 農業振興調査研究事業 685万円

9 獣害対策「ジビエコンテナ」導入

- 農業振興施設等整備事業 3,404万円



◀ジビエコンテナ

10 地域新電力会社設立事業

- 地域エネルギー100%のまちづくり推進事業 2,244万円

11 旧真庭高校周辺道路の整備

- 道路新設改良事業（補助） 3,700万円

12 真庭の空き家紹介バスツアー

- 空家活用推進事業 79万円

13 久世公民館仮移転

- 公民館施設等改修事業 1,687万円



仮移転する久世公民館

総務常任委員会

委員長 妹島 弘和 委員 黒川 愛
副委員長 田島 吉章 委員 柴田 正志
委員 緒形 尚 委員 葉廣 峰久
委員 小椋 一郎 委員 森脇 正和

本委員会は、令和7年6月2日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《総務部》

■公共施設等総合管理計画の改定

財産活用課から「公共施設等総合管理計画の改定」について説明がありました。

公共施設等総合管理計画は、平成29年度から令和38年度まで、40年間の公共建築物・インフラ等の全体としての方向性を示す計画で、10年ごとに見直すことになっています。本来は令和8年度が見直しの年ですが、令和6年度策定の第3次総合計画の内容等を踏まえ、1年前倒しして、今年度改定を進めます。

10月頃までに現状把握、課題分析等を行い、11月以降に素案をとりまとめ、パブリックコメントを実施したいと考えています。さらに来年度からは、今年度の改定を踏まえて、個別施設の在り方や方向性などを示した個別施設計画の策定に取り組んでいきます。

QRコードをスマホ等で読み取ると
閲覧できます

真庭市公共施設等総合管理計画 ▶



◀ 第3次真庭市総合計画

真庭市使用料・手数料 ▶
見直し基本方針



問

それぞれの地域で、身近な公共施設について、ワークショップなどで市民の意見を聞いていく機会があるのか。

答

個別施設をどうするかという段階で、必要があればワークショップなどを実施する。今年度は総合的な方針をつくる段階のため、パブリックコメントのほか、行政審議会などに意見を求めながら進めていく。

■使用料の見直し

財産活用課から「使用料の見直し」について説明がありました。

原則3年ごとに見直しを行う方針となっており、経済状況、社会の動向、行政サービス内容、公の施設のあり方などを総合的に判断し、手続きを進めていきます。

使用料の条例改正が必要になる場合は、9月議会への議案提出を考えています。10月から半年間は周知期間としてホームページや広報紙等でお知らせし、令和8年4月1日から改正した使用料で運営していくスケジュールですが、施設によっては、時期の前倒しも検討します。

問

施設の利用方法や使用料の取り方を見直すこともあるのか。

答

半日単位の時間設定しかできていなかったものを1時間単位にして利用しやすく改正を行った例もある。それぞれの所管部署で調整を行っていく。

■真庭市職員の募集

総務課から「真庭市職員の募集」について説明がありました。

問

他の市町村の状況はどうか。

答

他の市町村も経験者枠に力を入れてきている。専門職は全国で取り合いの状況になっており、真庭市には、いつでも採用の機会があるということ进行全面に出してホームページ等でお知らせしている。周りに対象の方がいるようであれば、勧めてほしい。



令和7年度採用の職員の皆さん

文教厚生常任委員会

委員長 伊藤 義則 委員 妹尾 智之
副委員長 伊賀 基之 委員 谷本 彰良
委員 奥 侑樹 委員 苦田 智子
委員 加藤 大悟

本委員会は、令和7年6月4日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《生活環境部》

■「地域公共交通計画」及び「利便増進実施計画」の策定

くらし安全課から、「地域公共交通計画」及び「利便増進実施計画」の策定について説明がありました。地域公共交通計画とは、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」により、すべての市町村に策定の努力義務がある法定計画で、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにするマスタープランです。策定にあたっては、交通事業者・利用者等の関係団体や、福祉・観光・教育分野とも議論しながら、持続可能な公共交通を目指し、立地適正化計画とも連動することでもちづくりと交通の方向性を共有します。

「利便増進実施計画」とは、マスタープランに基づき、利用者の利便の増進に資する事業を実施すること



快適な地域交通をめざして

により地域旅客運送サービスの持続可能な提供を図るための計画です。

問 北房地区に今のチョイソコを拡大することはできないか。

答 チョイソコ（オンデマンド乗合サービス）は、双方向の需要のマッチングで初めて送迎が成立する。北房エリアでは独自の運行をした方が効率が上がると想定している。

《教育委員会》

■高校魅力化支援パッケージ

教育総務課から、高校魅力化支援パッケージについて説明がありました。

真庭市では、人口減少に加え、急激な少子化が進む中、地域と共に市内高等学校の魅力化を図り、将来に向けた持続可能で多彩な学びの場を確保していくことが急務となっています。こうした中、令和6年7月に新設した「ゆめ学び創造基金」を活用し、真庭市内の高等学校での学習機会の確保と多彩な学びの創造を図り、真庭市で学ぶ生徒の成長と夢の実現を市民とともに後押しするものです。

新たに追加される7つの支援

- ① 農業インターンモデル整備
- ② 岡大教育学部県北プログラム交流
- ③ 短期海外留学支援
- ④ 英検等取得支援
- ⑤ ダンス部創設に伴う指導者派遣
- ⑥ 2校間連携事業
- ⑦ 学校説明会支援

これらを実施することで、地域全体での魅力ある多彩な学びの場としての高校の充実と、真庭市で学ぶ生徒の成長と夢の実現を促進することが期待されます。

問 本年度の郷育魅力化コーディネーターの体制はどうなっているのか。

答 真庭高校、勝山高校、山崎山校地に真庭市の会計年度職員を配置している。今年から高校に席を設けている。

問 真庭高校の社会起業家育成プログラムは、総合的な探究の時間で行われるのか、継続的なプログラムなのか。

答 総合的な探究の時間で、全16コマを使い、継続的に行う。



オープンスクールで魅力を伝える高校生

産業建設常任委員会

委員長 庄司 史郎 委員 福島 一則
副委員長 西田 文子 委員 村上 善彦
委員 小田 康文 委員 吉原 啓介
委員 長尾 修

本委員会は、令和7年6月3日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《産業観光部》

■地域新電力会社の設立

地域エネルギー政策課から、地域新電力会社の設立について説明がありました。



地域新電力会社 イメージ

電力の地産地消を実現し、得た利益の一部を地域課題の解決に生かし、地域活性化につなげるため、真庭市が中心となって、市内民間企業等とともに、地域新電力会社の設立を検討してきました。

このたび、出資者や出資額等、関係者との協議が概ね整いましたので、出資金等関連費用2,243万6千円を6月補正予算で計上しています。エネルギーを通じて、その資金の市内循環が促進され、地域活性化につながる効果を出していきたいと考えています。

問 地域新電力会社が8月にできるということで、市が出資比率の51%を出資する、その意味と意義を教えてください。

答 出資比率51%について、様々な議論があったが、地域の中で、再生可能エネルギーを通して新たな雇用を生み出し、地域の中でお金を回す、まさに地域の振興につながるものをどこがやるのかということになったときに、やはり行政が率先して、ステークホルダーをつく

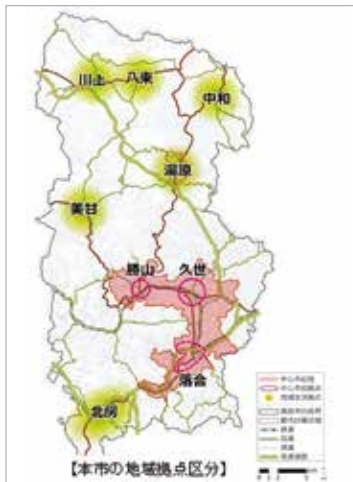
りながらやっていくというところを中心に考えている。

このことから、市が過半の資本を持ち、引っ張っていく形でやっていきたい。

《建設部》

■真庭市拠点形成計画(立地適正化計画)策定事業(仮称)

当事業は、令和3年3月に策定された真庭市まちづくり計画(真庭市都市計画マスタープラン)をもとに、その高度化版であり、市内全域を対象に各地域の拠点の将来像について、より明確化する真庭市拠点形成計画(立地適正化計画)(仮称)を策定するものです。



▶地域拠点区分立地適正化計画の区域区分

都市計画区域内においては、都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画として、居住誘導区域や都市機能誘導区域等を定めることにより、人口減少社会においても持続可能な都市構造となるよう、居住や生活サービス施設を緩やかに誘導する施策などを検討します。

また、都市計画区域外においても、拠点施設や拠点のエリアを明確にした上で、各地域の拠点周辺で一定の生活サービスを確保することにより、市内全域で持続可能な都市構造を目指します。

なお、本計画の策定によって、都市再生特別措置法による各種支援措置が受けられることに加え、下水道や都市防災などの社会資本整備総合交付金の重点配分の条件にもなっています。

問 都市計画区域内外で分け、基本的に都市計画区域内でのみ立地適正化計画をつくる。なぜこの部分だけ、全体のまちづくり構想でなく、立地適正化計画という形をとらなければならないのか。

答 これは、一つは街中をより重点的に将来に向けた都市構造にしていこうということ。また、国で、立地適正化計画の策定を進めており、各種交付金等の重点配分の条件でもある。

一般質問

6月定例会の議事録は
9月上旬から閲覧できます
・二次元バーコードをスマホ等で読み取ると、
一般質問が視聴できます。
・一般質問の記事は、代表質問は12000字
以内、個人質問は800字以内で質問した議員
本人がまとめています。

会派代表質問



にぎやかな真庭とは

所信表明のうち、一人一人が活動量を高め、人口×活動量Ⅱ地域の活力との考えを持ち、にぎやかな真庭を市民の皆さんと築くところがあるが、市民に具体的にどういうことを求めているのか伺う。

答 太田市長

市民活動、地域活動、市外との交流、それをさらに活発にしていきたい。市民が主役。



問

基本的認識と姿勢

①第3次真庭市総合計画は、2040年の人口目標を32,000人として真庭ライフスタイルを掲げている。次年度からの新たな総合戦略は、これまでの施策の効果を検証しつつ検討に着手とあるが人口目標を見直す考えはあるか。

②中期財政計画の見直しについて久世地域の公共施設整備が始まるが、持続可能な財政基盤の確立となるか。
③施設使用料、手数料の改定とあるが、市民に過度な負担にならないか。

答 太田市長

①今、議論を進めている。誰もこれが正解というものがない。

②PPP、PFI手法を活用して、民間資金の導入ということも検討している。

③維持管理費用が上がってきている。使用の負担の公平性の観点から検討していきたい。

問

結婚推進

結婚推進は、人口減少対策として最重要項目と思う。真庭市縁結び推進委員の頑張りには敬意を表す。地元で活躍する若者に、もっと出会いの場の提供をお願いする。推進委員との連携は当然であるが、民間企業と連携はできないか。

まにあぷりで推進強化できないか。

詫び文

80号11ページ一般質問の大口説子議員の問の題目が「高校魅力化」となっていました。正しくは、「人口減少への適応策」でした。お詫びして訂正いたします。

答 太田市長

民間団体と連携した取り組みとして、メタバースを活用したインターネット上の仮想空間でのマッチング事業やパソコンやスマートフォンでカウンセラーから恋愛等の相談、サポートを受けられる事業の実施を予定している。まにあぷりを活用した事業も行っていく。

問

林業の活性化と有害鳥獣の捕獲強化

真庭市の再造林率は低い。植林しても鹿被害を受けると経営意欲もなくなる。森林整備で得られる二酸化炭素吸収量をクレジット発行して売却収入を得られる。クレジットを市有林で取り組むことを進めるとあるが、将来的にこれを有害鳥獣対策や再造林施策に充てる考えがあるか。

答 太田市長

J-クレジット発行に向けて、設計をしている。安定的な財源であれば森林環境譲与税。これも活用して、森林の施業事業を行う。



まにあぷりにある縁結びアイコン

真和会
妹島 弘和



北町公園の計画的整備

① 新たな公民館や現在の保健福祉会館の機能、北町公園、消防本部など久世エリアの公共施設の計画的な整備について具体的な検討を進めるとしているが、特に北町公園については、「北町公園の在り方検討会」が令和5年9月に基本構想を策定している。

周辺地域の市民は、防災機能を備えた公園整備を強く望んでいるが、どのように進んでいるのか伺う。

② 北町公園周辺は水利に乏しい地区であり、防災の面で地域の方々は非常に心



公園全体のイメージパース

※イメージは今後基本設計、実施設計の中で変更される可能性があります

配をされている。

5月30日に木造住宅密集地の西町で大きな火事があった。それもあり周辺方々は危機感を持っている。いつ頃できるのか伺う。

答 太田市長

① 北町公園の整備は、防災機能、子育て機能などを取り

込んだ複合的な体育施設を含めて、今の場所に公園を再整備する。

体育館解体後は一挙に施設整備はできない。再整備の時期については、久世エリアの公共施設最適化方針の全体の中で造っていく。大きな事業なので、方針を今年度中に示せるように努力する。

② 防災関係、水利は農業用水路しかない。その水利が大変な問題だと思っている。消火栓だと持続しない。一方、農業用水では冬場は水を落とすということ、これをどうしていくか。土地改良区との関係もあり、問題意識を十分持つて検討を始めている。

問

重要伝統的建造物群保存地区指定へ

勝山地域では、勝山町並み保存地区を重要伝統的建造物群保存地区にすることが地元で盛り上がり、市としても全力を挙げて取り組むと市長は言われた。

農業、林業、そして観光は真庭の産業の3本柱である。重要伝統的建造物群保存地

区の指定に向けて、庁内に特別チームを編成し、スケジュール感を持って強力に推進していく考えと理解してよいか伺う。

答 太田市長

この制度は、市で都市計画を決定し、国に申し出て認められて選定されるということであるが、私は3つの意義があると思っている。

1点目は、歴史的景観や暮らしの文化を守ること、勝山の人たちが誇りを持って住み続けたい、そういう街にしたいことになる。

2点目は、歴史文化というのは地域にとって、あるいは真庭市にとって非常に大切である。

3点目は、重伝建に選定されることで観光振興あるいは行き交う人が多くなることも含めて経済効果が期待できる。また、住む人が増えることにも繋がる。

そういうことで、今までの取り組みをさらに強化して、住民の方々の取り組みも強化していただき、私どもも早くこれが実現できるように一生懸命行っていく。

翠山会
吉原 啓介



新たな総合戦略の推進

次年度からの新たな総合戦略について、重要なのは目標達成ではなく目的の達成であり、そのための戦略と戦術の策定が必要なのではないか。

本当の意味でのアクションプランとして策定して、結果としての数値が示されるような、そんな分かりやすく実行可能な戦略策定となるのか。

答 太田市長

持続可能な地域をどうつくっていくのかという認識の下に、効果的で実効性のある戦略内容となるようにしていく。

役所だけで、それも小さな真庭市だけで主体的にできることといっても限られている。民間誘導的なものも一定入れないと駄目だろうと思っている。

問

公共施設等の管理計画

公共施設等総合管理計画等、不断の努力を怠ることなく行政経営を点検する一方、未来を切り開く投資については優先順位をつけて積極果敢に取り組みと述べられた。公共施設に係る計画においてまず優先されるべきものは、リスク対策と、市民生活の維持、地域の活性化ではないか。

どうすればレジリエンスが向上し、暮らしやすさとの両立でトータルコストを削減できるのか、見直しに当たってはそういう視点をもっと打ち出すべきかと考える。

答 太田市長

人口減少で削減するのは削減しながらも、次の時代に本当に必要となるもの、生活向上や低コスト、多目的な機能を果たすようなものについては将来を見越して造っておかなければならないと思っている。

逃げる気はないが、地域の

問

住民の人たちがどう生きていくのかという、そういう意味での私が言っている地域自治をしっかりと理解して主体的に立ち上がる人たちがいないと地域は潰れてしまうと思っている。

防災対策及び社会インフラの整備

災害対策の観点からも都市下水的な役割としての農業水路は大変重要な存在だが、耕作放棄、高齢化、施設自体の老朽化、中心部空洞化により住民だけで維持することは困難になってきている。

こういった農業用の排水



農業用水路は街の排水路としても重要 落合垂水

答 太田市長

路を、これも都市インフラにほかならないものであるから、農業の維持のため、衛生環境維持のため、内水氾濫、火災、防災対策、道路の崩壊の防止、市民生活にとつての居住環境を守るために複数の部局にわたる課題として取り組むべきではないか。

誰が管理するのか、整理をどうしていくか。真庭市だけで対応できない、地元だけでも対応できない。どうしていくのかというのを、お互いに考えながら、しかし国の制度としてどうしていくのかというのをやらなければいけない問題が多々あると思っている。

ざっくばらんに語ろう開催決定 10月25日 ~ 11月16日

1班

◎黒川 愛 ○庄司史郎 伊藤義則
田島吉章 谷本彰良 長尾 修

蒜山校地三座館 ▶ 10月29日【水】 16:30 ~
湯川公会堂 ▶ 11月 8日【土】 18:30 ~
余野なつつばき ▶ 11月16日【日】 13:30 ~

2班

◎妹尾智之 ○柴田正志 苦田智子
葉廣峰久 吉原啓介

ハイランド落合 ▶ 10月31日【金】 19:00 ~
富原公民館 ▶ 11月 1日【土】 14:00 ~
焼芝コミュニティハウス ▶ 11月 2日【日】 14:00 ~

3班

◎伊賀基之 ○森脇正和 緒形 尚
奥 侑樹 福島一則 村上善彦

鹿田公民館 ▶ 10月25日【土】 19:00 ~
月田公民館 ▶ 11月 1日【土】 19:00 ~
二川未来づくりセンター ▶ 11月15日【土】 19:00 ~

4班

◎加藤大悟 ○小田康文 小椋一郎
妹島弘和 西田文子

北房文化センター
ボランティア室 ▶ 10月25日【土】 15:00 ~
野川公会堂 ▶ 10月26日【日】 13:30 ~
草加部小学校 体育館 ▶ 11月 1日【土】 18:00 ~

◎は班長 ○は副班長

個人質問

西田 文子



農業者を増やし、
農地を守る提案

農業従事者の継承と耕作放棄地を増やさないことは日本の農業の課題だ。真庭市は農業を始めた人に支援金を用意しているが、今の支援では弱いのではないかと。小規模農業者を増やし、耕作放棄地を増やさないため提案する。

① 農業の経験が無い人を会計年度職員のような形態

で農業従事者職員として雇用し、農業者として独立できるように支援する。

② 耕作放棄地になった農地を市が譲り受け、貸し出し、農地を維持していく。

③ 農業機械を市が購入し、農業を始める人に貸し出す。

答 太田市長

① 会計年度職員も地方公

共団体の職員。農業を事業として行うことは、今の地方自治制度からするとできない。

国や県の独自制度もある。真庭市の独自制度は、就農準備資金の対象となる研修生に助成する、農業スタートアップ応援事業もある。国の制度として拡充していいのではないかと思う。市がするとす

れば、地域おこし協力隊の制度を活用する。

② 耕作放棄地の取得と活用は、自治体が農業経営の団体となるという性格のものではない。中山間直接支払制度とかを活用するのが現実的だが、事務的に大変なので、事務支援ということをして、農業の支援会社で新しい支援制度をつくっていききたい。

③ 機械の貸与も直接すべきではないと思う。農業支援サービスの事業体で、機械をシェアする仕組みとか、なかなか難しいが、検討していく。

伊藤 義則

真庭市の財政状況はどうか。令和5年度の決算は3.1億円の財政調整基金を取り崩し、実質単年度収支額は1,385千円となっている。令和5年度末の財政調整基金は94.8億円あり、将来の負債もコントロールされて経常収支比率は93.4%で、この時点で



真庭市財政の
見込みと財政計画

一部は健全である。しかし、人口減少等により歳入確保が厳しく、計画的な歳出削減が難しく財政調整基金だよりの予算編成となることが予測される。しかも大きな事業が控えている。「真庭市中中期財政計画」について伺う。① 財政の確保の中に、ふるさと納税制度とあるが具体策は。② 予算要求においてその財源は既存事業の廃止・縮小等により捻出するとあるが。

答 太田市長

① 令和6年度に4億円を超える寄附があった。知恵を出しふるさと納税を増やしたい。現地決済型の仕組みを準備している。

② 簡単ではないがスクラップをする場合、評価検証を見える化をする。

地域支援

一部の都市部と中山間地ではコミュニティが活発である。一方で過疎が進み、公共交通が不便で、行事等がなくなっている。本来であれば振



地域支援

興局の業務であるが、その体制がとれていない。人が人をケアするところに一番人が必要だと思っている。「誰一人取り残さない」をどう具体にするのか市長に伺う。

答 太田市長

今年度から振興局単位で課題解決、活性化を支援するために地域魅力化コーディネーターの配置を進めている。住民と課題を共有しながら地域の維持を行う。

答 木村総合政策部長

dXを用いて、対面での話が必要な、ケアが必要な部分に職員を配置するよう進めている。



耕作地と放棄地 田原山上



北房ぶり市 下巻部

小椋 一郎



公共のバスに動物 避け機器の搭載を

真庭市では毎年、害獣による被害が農地、山林以外でも多発している状況である。真庭市農業振興課によると「令和5年度の捕獲数は、猪2,086頭、鹿1,226頭、猿190頭。これだけ捕獲しても害獣の被害が収まらない。画期的な方法があれば導入したいとのこと。そこで高周波音を活用した害獣の追い払い機器を紹介する。この機器は、岡山理科大学と民間企業が共同で開発。令和6年から和気町で、



高周波音照射害獣忌避装置
和気町鶴飼谷温泉付近

が通常の道で児童や生徒達に被害を与え、恐れは、ゼロとは言われないが可能性は低い。費用

答 太田市長

試験運用中との事で視察に行った結果、ある程度の効果はあるが、数か月で害獣は音慣れする等、課題もあった。機器の弱点を補い、効果を十分に発揮するため、スクールバスとまにわくんに、この機器の搭載を提案する。害獣から児童、生徒やバスの利用者を守り、害獣とバスの接触事故を減少させるため、動物避け機器の導入を検討してはいいかがか。

岡山理科大学ほか、全国でもやっているが、高周波音を使って動物が忌避する装置の関係は、私も学長から話聞いており、真庭市でも検討した。今の機械そのものが長期的に効果を生じない。今現在、害獣

答 三ツ教育長

対効果を考え、機器の搭載は考えていない。

スクールバスについて、これまで野生鳥獣の出没により、児童、生徒が乗降に支障をきたすというような状況はなく推移している。機器の搭載については、市長の答弁のとおり、市にふさわしい対応を教育委員会としてもしていきたいと思う。児童、生徒の安全は非常に大事な事であり、スクールバスの関係者と連携を図り、安全確保に努める。

妹尾 智之



問 APD・LiDに 理解を

聞こえているのに言葉が聞き取れない。聴力検査では異常がないにもかかわらず会話が理解できず悩んでいる人たちがいる。APD、聴覚情報処理障害やLiD、聞き取り困難症と呼ばれる症状である。まだ診断基準は確立されていない。APDやLiDは音が聞こえるため、通常の聴力検査で異常なしと判断されることが多く、耳から入った音の情報を脳で処理する際、何らかの障害が生じる症状と考えられる。診断基準や治療方法が確立されていないのが現状である。主な症状は、騒がしい場所や早口の人の会話が聞き取れない。聞き間違いが多い、複数人との会話が難しいなどである。以下の点について伺う。

①症状を伝えるパンフレットやチェックシートを市内の医師会とも連携をしながら耳鼻科に置いていただき、身近なところから理解を広げてはいいかないか。
②学校現場では教職員への理解と啓発活動が必要と考える。市長、教育長からの所見を伺う。

答 太田市長

①APD、LiDについて症状を伝えるためのパンフレットを市の窓口や関係機関にも配布するなど、様々な機会を捉えて周知に努める。こ

答 三ツ教育長

いう方がいらっしゃるという理解を十分していくことが私たちにとって必要だと思う。

②APD、LiDのように検査には現れない症状を有する人がいるということをまずは教職員が理解し、児童一人一人に向き合うことが欠かせないというふうに考えている。APD、LiDを抱える児童・生徒のみならず、全ての子どもが自分の持つ力を十分に発揮できるよう適切な支援や、それを支え合える環境づくりについて、まずは知ること、そして見取ること、関係機関につながることを軸に置きながら取り組みを進める。



LiD APDマーク

奥 侑樹

問



屋内遊び場の整備と 公共施設の活用

市内に週末や悪天候時に子どもが遊べる屋内遊び場がほとんどない。公共施設を活用し、屋内遊び場を整備する考えはあるか。遊び場がコミュニティ形成や行政参加にも寄与するのではないか。

答 太田市長

必要性は認識している。巡回屋内遊び場を市内7か所で実施する。図書館など既存施設を工夫すれば環境が整う。遊び場は保護者の交



市役所のエレベーターホール

流にも寄与し、地域活力につながる。

答 樋口健康福祉部長

巡回遊び場実施後、利用者意見を踏まえ、好評であれば常設化も含めて検討を進める。公共施設を子どもや保護者にも開かれた場として活用したい。

問

在留外国人対応と 多文化共生の推進

在留外国人は近年急増中、市内でも2021年比1.6倍増、500人を超えた。在留外国人を社会のフルメンバーとして受け入れる対策は焦点である。庁内体制整備、多言語表示の導入、やさしい日本語研修、公設日本語教室の設置等が必要ではないか。

答 太田市長

行政・市民・企業が一体となり人権を尊重し、多文化共生社会実現に向けて取り組みを強化し、プロジェクト立ち上げ議論を進めている。十分ながらコミュニケーションボ

ードや翻訳機等で対応している。やさしい日本語の活用も含め検討する。

答 木林産業観光部長

人口減少が進む中で働き手確保は重要だ。外国人に来てもらえるためにも環境を整備したい。

答 木村総合政策部長

総合戦略で外国人対応は強化していく。外国人との交流も重要、庁内で情報共有し、そういった場もつくってきたい。

村上 善彦

問



北町公園整備

北町公園内で施設の解体工事が行われているが、そこに存在する木々、銅像、標柱などの存続について伺いたい。今後、北町公園がどのように計画が進んでいるのか伺いたい。

答 太田市長

久世地域の保育事業、ま

た、久世保育園の開設に非常に貢献された福井先生の銅像は関係者に聞いて多くの方の賛同が得られる場所にすればいいと思う。

旧専売公社久世出張所跡地の

標柱は、一つの地域産業の歴史、産業遺産として木でするか石にするかも含めて検討する。合併特例債がある間に施設解体し、その後再整備が着工するまで、遊べる公園となるよう工事していく。再整備の時期については久世エリア公共施設最適化方針の中で進めていく。

答 金谷生活環境部長

北町公園基本構想計画の中で極力自然の木々を残していくことになっている。大木もあり将来危険な物も出てくるかもしれない。管理のことも含めてどのような形で残すのがいいか検討する。

問

岡山県河道内整備計画

一級河川の小谷川や三坂川は葦が生い茂り川面をかなりの延長に渡り覆い尽くしている。また、護岸の玉石も崩れかけたりして豪雨、大水が来れば崩落の恐れもあり、地元住民も心配している。一刻も早い対応が必要と考えられる。市の見解を伺いたい。

答 太田市長

二つの河川を管理している岡山県が河道内整備計画に基づいて障害物の撤去を緊急浚渫推進事業債を活用して優先度の高い川から進めている。要望はしているがなかなか順番が回ってこないというのが現状である。豪雨時に護岸の安全に懸念があることを真庭市として把握しており県にも伝えている。引き続き要望を強めていく。



葦が生茂った小谷川 久世

小田 康文



次元が違う

真庭市消防本部庁舎建設の予算は令和8年度後半に工事着手であったが、久世エリアの公共施設の最適化方針で設計予算の計上は、令和8年度以降に先送りされた。しかし、旧遷喬尋常小学校の修繕・整備事業は、令和7年度から実施される。公共施設を整備する順序・優先順位がおかしいのではないかと。真庭市民全体の生命と財産を守る拠点である真庭市消防本部（本署）の整備が優先されるべきであると思うが。

答 太田市長

遷喬小学校と消防本部との関係であるが、次元が違う。消防本部庁舎は平成26年に耐震補強工事をしており、一定の整備をしている。旧遷喬小学校のほうは、重要文化財なので国と協議しながら、保存改築という基本構想をつくり、検討を進めてき



真庭消防本部に先んじて整備される旧遷喬小学校鍋屋

た。文化庁の補助金も順番が決まっている。旧遷喬小学校をこれから100年以上持たすという義務が私たちにあってる。っている。

問

学校統合を唯一無二の前提としない

平成23年1月に策定された「真庭市立小・中学校適正配置実施計画」は、平成31年に二川小学校が湯原小学校と統合して、終了した。その後何か具体的な計画の検討などは、実施しているか。

答 三ツ教育長

これまでの児童数、学級数を前提とした適正の概念は

人口増を前提とし、効率的に均質な教育を提供することが、主な目的として構築されてきた。しかし少子化が加速する中で、地域ごとにそのスピードはどんどん違ってきている。その中で今まで通りであるとか、全部同じというのは、やはり難しいと感じている。学校の在り方に関する考え方は整理して示していくことは必要である。現段階ではいわゆる少子化に伴って、児童数、学級数を学校統合唯一無二の前提とはしない。

緒形 尚

問



自助、共助、公助の視点で福祉を

地域での生活困窮事例は、複雑化、多様化して、もはや一つの制度や一つの機関だけで完結できる支援は少なくなっている。そうした中で市が主導し、関係機関や地域の方々と支援体制を築いていくことが求められている。とりわけ重要なのが重層

的支援体制だと思う。切れ目のない支援を可能にするために、行政、民間、地域が連携して柔軟に対応していく必要がある。情報の集約や支援のコーディネート機能を果たす場があることで課題の早期発見や関係機関の連携がスムーズになり、支援につながる可能性が段階に高まってきている。

人と人をつなげる拠点こそが孤立を防ぎ、地域の力を引き出す最初の一步である。通いやすく、相談しやすく、顔が見える距離感で支援を届けることが真庭市らしい支援の在り方である。誰もが安心して手を伸ばせる仕組みづくりを実現するために、行政主導での仕組み設計と官民の連携強化を今後の市政の柱として検討いただきたい。

答 太田市長

制度のはざまの社会的孤立もある。また8050など、ダブルケアの問題もあるとか個人・世帯が長寿命化してきたことも一つ背景にあるが、世帯・個人が複合的に問題を抱えている。それに対し

て、重層的な対応をすることが必要だと思っている。地域や市内の限られた資源であるが、民間企業等と十分議論し、広域な真庭の中で共生社会をつくっていくことを念頭に置きながら効果的な相談、重層的な支援の在り方、体制について考えていく。

基幹相談支援センター施設と同様に地域生活支援拠点の整備について関係者と議論を重ね、地域活動支援センターの役割も含めてどういう支援体制をつくっていくか進めていく。御指摘のように必要だということは認識した上で進めていく。



一人ひとりに寄り添う支援を

柴田 正志

問



**持込ごみの価格改定
(3.6倍)の影響**

どんなに減らそうと努力しても減らせない可燃ごみが紙おむつである。介護老人福祉施設からは大量の紙おむつ等が発生している。4月1日からの事業系持込ごみ処理手数料の改定(50円から180円)は法人運営の大きな負担となっている。地域で安心して生活していく上で大切な福祉施設のこういった状況に何らかの配慮が必要であると考えるが市長の見解を伺う。

答 太田市長

大量に紙おむつを扱うことで事業所から減免の声が上がり、要望書も出ている。この料金改定の時にそのあたりの配慮をすべきだったと思っている。現状を踏まえ事業所の実態調査を行っており、負担を減らすことで検討に入っている。負担を減らすことは実現したい。

問

**地域で管理している
給水施設の把握**

簡易水道区域が452km²、上水道区域が67km²と真庭市828km²の約63%をカバーしている。真庭市で管理しているこれらの区域を除いた管理区域外の地域はおおむね周辺の山村地域であり、そこでは昔同様に地域で給水設備を管理されている。人口・世帯の減少、高齢化により給水施設を将来も管理していくことに不安を感じられていることは推察され、今後の地域課題となる。衛生管理の観点からも、まずは現状を把握し地域に寄り添った提案やアドバイスができる準備をすべきと考える。市長の見解を伺う。

答 太田市長

合併時から簡易給水施設補助金交付規定をつくり給水区域外の方々にも給水施設を作る場合に補助金を出している。対象は1戸からで



地域が管理している給水施設
星山

ある。水質検査の代行受付も真庭市でやっている。湧水等で集落でいい水が出なくなったら、上下水道課、振興局も一緒に対応している。水は必要不可欠なものであり出来る限りの飲料水の対応をしていく。

加藤 大悟

問



国土交通省の道路緊急ダイヤル活用

道路に関する専決処分が度々議会に報告されている。真庭市の市道延長は約1,200kmあり、管理する上では膨大な時間が必要である。道路パトロールを1日実施しても、全ての路線を点検することは管理面から見ると天文学的な延長であり、絶

対できない。

点検した後に路面に落石があつたら、それは次のパトロールまで発見し除去できない。こうした課題を今後どうしていくのか、解決策が急がれるが、市長の考えを聞く。

答 太田市長

真庭市が管理する市道が約1,200km、3m以上の橋が1,000ある。全路線を常時点検することは現実的に無理である。道路作業員によつて定期的にパトロールをし、落石、倒木、舗装の損傷の異常を確認して、それがあれば速やかに対応することになっている。

道路愛護団体として211団体系登録してもらい、異常が



美作追分駅 上河内

分かった場合には、国土交通省の道路緊急ダイヤル、#9910の活用を呼びかけている。

問

**警鐘を鳴らすという
社会的役割果たす**

真庭市は資本参加による責任を持ち、地方鉄道を守る立場を明確にするためとしてJR西日本の株式を取得した。令和7年6月18日西日本旅客鉄道株式会社の株主総会が開催されたが、今後の戦略を聞く。

答 太田市長

JRに対して地方から警鐘を鳴らすという社会的役割は果たしている。総会でも路線を維持するより廃止してでも経営をよくしようという人たちの株主取得数のほうが多い。経営効率を上げる、という株主総会議決すら出かねない。いろんな作戦を使いながら一緒にいって取り組んでいきたい。

田島 吉章



若者の意見を政策に 反映する仕組み

消滅可能性自治体とされた本市では、人口減少対策の本丸である若者対策に課題があり、当事者である若者の意見を政策に反映する仕組みづくりが必要である。中でも、若者議会のような制度的に整備された恒常的な仕組みの導入を検討すべきと考える。これまでの若者施策の評価と次期総合戦略策定に



令和5年度第9期若者議会の集合写真 (新城市市民自治推進課提供)

向けた改善、若者議会・参加型予算制度の導入可能性について所見を問う。

答 太田市長

次期総合戦略では人口減少対策を最重要課題としているが、15～29歳の転出超過が多く、これまでの若者向け施策は不十分と認識している。他市の事例も参考にしつつ、市民・職員の両方で若者の意見が出しやすい雰囲気づくり、意見を恒常的に聞き、政策に反映する仕組みづくりに取り組んでいきたい。



技術の進歩による 新たな市民の創出

デジタル技術の進展により、定住に依らない仮想的な人口の創出が現実味を帯びてきた。例えば、まにあぶりの公的個人認証を用いたデジタル市民登録により、寄付や政策提案など多方面での協働が可能になると考えられる。こうした技術の進歩による新たな市民の創出は、今後の人口減少対策

で重要になるのではないかとデジタル市民制度の導入と次期総合戦略への反映について市長の見解を問う。

答 太田市長

まにあぶりは双方向性のコミュニケーションや関係人口の拡大にも活用できる先進的取り組みである。個人情報や参加資格などの課題はあるが、国の動向も見据えつつ、これを基盤としたデジタル市民制度の可能性を検討していきたい。誰も取り残さぬ仕組みを念頭に研究を進めたい。

黒川 愛



鎮魂と平和を求める 決意へ

戦後80年。平和を享受してきたが、自動的に得たものではない。多くの犠牲の上に築かれ、平和の維持に取り組んでこられた方々の努力のたまもの。

遺族会も高齢化し、支部の解散も相次ぐ。どのようにして戦後81年、90年、100年を迎えるかは私たち大人の責任。市長の思いに同感で、武力ではなく、過去を学び、反省し、一人一人が考え、平和をつくる。戦争の記憶を伝え、平和を地域で共に考える取り組みは。



平和の塔 禾津

答 太田市長

8月6日に、広島を親子で訪問する平和学習も実施している。81年から、鎮魂と平和を求める決意へ、雰囲気をつくるような取り組みを、議会や遺族会とも相談したい。

答 三ツ教育長

市内の小学生は蒜山地域の戦争遺跡群を巡っている。全中学校では修学旅行の沖縄で語り部から戦争の実相に触れている。取り組みを一過性とせず、平和の尊さを自分で考え、行動できる力を育んでいきたい。



待機・保留児童の支援を

4月1日現在待機児童は0人。現在の保留児童は6人。見込みは。働けず、保護者から相談を受ける。先行きが見えず、不安で涙が出てくる。保育士確保の取り組みを何年も行っているが、保育士不足のままで、限界では。待機児童補助金や園バスなど新たな取り組みの検討が必要では。

答 太田市長

いろんな手段、提案も考える。

答 樋口健康福祉部長

7月1日以降、年度途中の申込みは21名。全てが受けられる状況ではない。



子育て 情報カレンダーを

子育て支援施設やイベント発信はあるが、情報がばらばら。保護者は一つ一つの情報を取りに行かないといけない。一元化を。

答 木村総合政策部長

分かりやすい表示に、今後改善していきたい。

伊賀基之

問



古見駅に、トイレを設置すべき

市内の駅舎は条例で管理・運営され、トイレはすべて水洗・洋式化されている。古見駅のトイレは令和3年に取り壊され、4年近くトイレのない状態である。朝夕の乗降者は概ね70名前後で増加しており、早急な対応が必要と考える。



古見駅 古見

答 太田市長

列車のトイレを利用していただきたい。周辺のコンビニでトイレを貸していただける。設置する必要性は弱い。

問

プロポーザル審査に公平性透明性を

①プロポーザル審査は事業者の選定で金額のみの競争にはなじまない業務で、創造性・技術力・デザインなどを提案書で評価する。審査委員は制度の初めは外部有識者が多く任命されていたが近年は審査員全員が市の職員というケースが増えている。高い専門性や、公平性・透明性の担保のため半数は外部有識者を任命すべきでは。副市長、部長、課長、担当者と職階の中で完全に自由に議論できているのか。国のガイドラインは外部委員を入れる方が望ましいと書いてある。

答 伊藤副市長

②指定管理者選定審議会の審議委員は「5名以上で市職員は2名以内」と決めている。プロポーザルとの違いは何か。

①専門性がより求められるものについては、外部の方をお願いする。職階制の中で

何か問題がある、恣意的な指示をする、そういったことはあり得えない。懸念されるような状況が起こる可能性はあり得えない。国交省のガイドラインは参考にするが、契約をどういった形でやるかは、あくまで真庭市執行部で判断する。

②指定管理者制度と個別の契約は性格が違う。指定管理者制度は議会議決が必要で、審査方法についても、より客観性が求められることになり、審査している。

庄司 史郎

問



プロポーザル審査結果の公表を

3月定例議会において質問したが、質問内容について誤解があったのではないかと考えている。そこで今一度質問する。聞きたいのはプロポーザルを実施した審査結果の公表であり、現在公表されているのは選定業者名だけである。

他の自治体のホームページのプロポーザル審査結果の公表を見ると、審査総合点数や審査の総評などを公表している。公表できるものは公表すべきと思う。

答 太田市長

今まで庁内で公表内容をきちつと統一できていなかったという不十分なところがあった。この5月にプロポーザル方式の、いろんな議論もあったことも踏まえて、プロポーザルの実施に関するガイドラインを見直した。

契約者を特定した場合に、契約候補者名とその点数を公表し、併せて契約候補者以外の提案者名とその得点に



プロポーザルした久世第2保育園予定地 中島

問

集会所の水道料金の減免の考え方は

市内において水道の休止申請をしている集会所が24か所ほどある。これらの集会所を所有する自治会は、戸数の少ない高齢化した自治会等が多い。自治会の活動費を捻出することにも苦慮している状況である。全ての集会所の水道料金の免除は難しいと思うが、戸数や高齢化率など一定の線引きを行い、減免する方法は考えられないか。

答 太田市長

独立採算制ということ、水道法の第14条に水道使用者負担の公平性を原則とするということがある。一々開始して休止してというのは面倒だということも理解できる。集会所の気持ちはわかるが、公平性の観点からいって難しい。問題意識は十分持っている。

GIKAI NO UGOKI

議会

の

動き

4月 5月 6月 7月編

議会活性化推進特別委員会設置

議員発議により議長を除く21人で議会活性化推進特別委員会が設置されました。

委員長に緒形副議長、副委員長に妹尾議員が選出されました。委員会の中に、議会活性化推進小委員会、議会ICT化推進部会、議会活性化検証部会を置き、議会活性化推進の調査研究を行うこととしました。

議会活性化推進特別委員会

地域課題に寄り添いながら

議会活性化推進特別委員会では、「開かれた議会」「親しみやすい議会」を目指し、情報発信の工夫や、市民の皆さまとの対話を何よりも大切にしながら、日々取り組みを進めております。

あわせて、議会改革と議会活性化にも積極的に取り組み、議会が本来果たすべき役割をより一層明確にし、市民の皆さまにとってわかりやすく、信頼される存在となれるよう努めています。私たちは、皆さまから寄せられるご意見や思いを真摯に受け止め、地域の課題に寄り添いながら、市民とともに歩む議会を築いてまいります。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。
(文・緒形)



総務常任委員会

市民に信頼される委員会に

総務常任委員会は、主に、市民の皆さまの安全安心を守る市長直轄組織危機管理課、消防本部。市政の基本的施策を計画立てる総合政策部。また、市の事務の効率化等に努める総務部などを所管しております。

私ども委員8名は、市民生活のさらなる向上を目的として、委員としての立場と役割、責任感を持ちながら、市民の思いに広く目を向け、信頼に応えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(文・妹島)



文教厚生常任委員会

市民の生活を豊かに

文教厚生常任委員会は、教育委員会・生活環境部・健康福祉部・湯原温泉病院など市民の暮らしに密接な分野を広範囲に所管しています。人口減少・ごみの分別・公共交通・学校再編等と課題はたくさんあります。われわれ7人の委員は多様性に富んだ活発なメンバーです。それぞれの目線で執行部と意見交換を行い、市民の生活が豊かになるように取り組んでまいります。

(文・伊藤)



産業建設常任委員会

安心して暮らせる真庭に

産業建設常任委員会は産業観光部（産業政策課、林業・バイオマス産業課、農業振興課、地域エネルギー政策課）と建設部（まちづくり推進課、建築営繕課、建設課、上下水道課）、各振興局の産業・建設に関わる行政事務部門を所管としています。

市民の皆様の声を大切にしながら、農林業、商工業、観光、道路・上下水道整備など幅広い分野について調査・研究を行い、農林業の活性化、持続可能な地域産業の振興等を図る取り組みを進め、市民が安心して暮らせる真庭市の創造を目指して参ります。
(文・庄司)



MANIWA
2025

SHIMIN
NO
HIROBA

市民の 広場

議会
広報

◎森脇 正和 ○西田 文子
奥 侑樹 小椋 一郎
苦田 智子 村上 善彦

ここは市民みんなでつくるページです
楽しい気持ちでご参加ください

声

真庭市誕生 20
年おめでとう
ございます!議
会広報はわかりやすく
記載されていて市政の
様子を知ることができます。
今後も情報を分かり
やすく公開してください!
60代女性

渦の中の再会▶
-岡山駅にて親友と-
The Reunion in the Swirl
綿貫滯



真下から見た打ち上げ花火 かたくり



ゆらめく炎 BUN



Sunlight01 ペンスイチェリム



夏の蒜山 どや!



水連 MO



雅な世界 智子



中島橋から見た旭川 ドクダミ茶は母の思い出 T.S
真夏のゲン



募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてある必要があります。声は氏名を載せることにしています。

応募先▶真庭市議会
宛先:20ページの帯欄に記載しています。

ホームページをご覧ください



ホームページ



フェイスブック

12月定例会の請願・陳情は10月31日(金)まで
12月定例会の請願と陳情の受付は10月31日(金)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いいたします。ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。
市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。
請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

ちやんと一枚

秋の深山の風景 岩本志げ子さん



9月定例会は

9月9日(火)から9月30日(火)

- 9月9日(火) 本会議(開会・議案上程・提案説明)
 - 11日(木) 本会議(一般質問)
 - 12日(金) 本会議(一般質問)
 - 16日(火) 本会議(一般質問・議案質疑)
 - 17日(水) 18日(木) 19日(金) 常任委員会
 - 22日(月) 予算審査特別委員会
 - 24日(水) 25日(木) 決算審査特別委員会
 - 30日(火) 本会議(委員長報告・採決・閉会)
- 会議は通常午前9時30分に開会します。
■ 正式には9月1日(月)の議会運営委員会で決定します。

問題

今年で真庭市は

〇〇歳

GIKAI QUIZ



災害備蓄用パン 黒まめ

正 解者の中から20人に災害備蓄用食品「缶入りパン(黒豆)」「フリーズドライ工房まにわ」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。締切：9月30日(火)消印有効。
前号の応募総数は46通で、正解者は43人でした。ご応募ありがとうございました。

編集後記

初めての議会が終わり、議員となり4ヶ月が経ちました。スーパードラゴンビで感じる視線にも慣れてきました。議員となり、声をかけてもらえることも増えました。顔見知り程度だった人と話をするようになりました。20数年ぶりに言葉を交わすようになった人もいます。議員にならなければ、会わなかった人、行かなかった場所、経験しなかったことがあります。議員とは、人と人をつなぐ仕事なのだと思います。ことを実感する4ヶ月でした。

議員になる前から、地方議員と言えば一般質問というイメージがありました。4年間の任期で16回しかチャンスがありません。答弁を予想しながら質問の準備をしました。市長のペルソナを設定し、生成AIで架空の一般質問をして練習しました。実際の一般質問は、想像以上に知的にエキサイティングでした。また、議会におけるコミュニケーションは、単なるやり取りに留まらず、様々なコミュニケーション機能が複層するものであることも肌身で感じました。コミュニケーション論を学んだ人間としてはとても興味深く、これからも研究していきたいと思います。(文責 奥)

真庭いきいきテレビ ご視聴下さい

真庭市議会定例会は真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル(122)で生中継しています。

一般質問や各常任委員会付託案件審査は、録画して後日放送しています。

GIKAI HEADLINEは、真庭いきいきテレビYouTubeチャンネルで定例会閉会2週間後から2週間視聴できます。